

互いを思いやり 笑顔で活動

「鷺別婦人会では、さまざまな活動を通じて、鷺別地区を元気にしていこうと考えています。活動では会員の皆さんの笑顔が溢れていますよ」と話す雨洗さん。

11月1日から3日まで鷺別公民館で開催された鷺別地区文化展では、36年間にわたって同会で受け継がれてきたレシビで作る、醤油味の『文化だんご』2千個の無料振る舞いを行っています。

「毎年多くの方が楽しみにしてくださっているんですよ」と雨洗さんは話します。

「会では、ボランティアや炊き出しをはじめ、1年を通じてさまざまな活動を行っているので、会員の皆さんには「無理をしないでください」とお伝えしているのですが、忙しい中でも積極的に参



▲温かい雰囲気の中、笑顔で活動する鷺別婦人会の皆さん

加してくださるので、会はいつも活発で笑顔が絶えません。会の運営は、会員の皆さんの温かい助けがあって成り立っているのです、感謝の気持ちでいっぱいです」。

人の心が地域をつくる

「地域の皆さんに喜んでいただけることやりがいを感じますし、会の活動が地域住民同士の親睦を深めるきっかけになっていることがとてもうれしいです。そして何よりも、私たち自身が楽しんで活動させていただいています。地域で必要とされ、生きがいを感じますし、会が皆さんにとって安心できる居場所になっています」。

いつも会の活動を楽しみに参加していた方が来ない日が続くと体調を伺いに行くなど、地域での見守りにもつながっているそうです。

「60年間、鷺別婦人会が続いているのは、これまでご尽力いただいた諸先輩や現在の会員の皆さんの努力と地域を思う心があるからだと感じています」。

今後も、楽しく仲良く活動して地域を元気にしていきたいですね」

人と人とのつながりを大切に、鷺別婦人会は、今日もまちを元気にしています。

きらり

KIRARI

あめ あらい やす え

雨洗康江さん

昭和32年に発足し、平成28年11月で創立60年目を迎えた鷺別婦人会は、鷺別地区9町内会の女性で構成する団体であり、現在30人が会員として活動しています。

同会は、発足から現在まで、鷺別中学校区学校支援地域本部地域教育協議会主催の『もちつき』や清掃などのボランティア活動、鷺別地区で行っている津波避難訓練時の炊き出し、鷺別海岸海洋浴ウォーキングまつりでの鮭汁作りを担うなど、地域のさまざまな活動を支え、鷺別地区に元気を与えています。

今回は、同会の活発な活動内容や地域への思いなどを同会の会長を務める雨洗康江さんに伺いました。

地域を思う心が地域の元気づくりにつながっています。



昭和15年、歌志内市生まれ。76歳。

昭和36年、結婚を機に登別市に転入後、昭和48年に鷺別婦人会に入会し、平成23年からは同会会長を務める。さらに、鷺別中学校のPTA役員を終えた後、その経験を生かし、昭和57年からは町内会活動に参加。以降、鷺別地区連合町内会や市連合町内会の副会長なども担い、まちづくり活動になくてはならない存在となっている。